

## 取組状況 (1)

### より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化\_実働水防訓練の実施

#### 市総合防災訓練を実施【南陽市】

##### ～豪雨備え防災体制を確認、実践的な訓練の実施～

市総合防災訓練が10月15日に南陽市梨郷地区で行われ、市消防団・消防職員・梨郷地区長会・自主防災組織連絡協議会、その他関係機関・団体合わせて27団体512名が有事に備えて防災体制を確認しました。

今年度は、台風接近に伴う集中豪雨により河川水位が上昇し、堤防が決壊したとの想定で各種訓練が行われ、一部訓練(担架搬送・応急救護訓練)はセミブラインド(一部訓練のシナリオを与えない)方式とするなど、より実践に近い形で行われました。

また、災害対策本部設置訓練では、本部員会議の中で、山形河川国道事務所から市長に対し、今後の判断を支援するため河川情報を提供する「ホットライン通信訓練」も行われました。



水害でひっくり返った車を想定した救助訓練



セミブラインド方式による応急救護訓練

## 取組状況 (2)

### 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

#### 山辺地区防災拠点の造成開始【山辺町、山形河川国道事務所】

##### ～広域的総合防災拠点を整備～

須川河道掘削工事で発生する土砂を有効活用し、山辺町と国が連携した「防災拠点」の造成が開始されました。

同拠点は、大規模水害が発生した時、堤防被災時の応急復旧作業及び水防拠点として整備。

山辺町は、近接住民、要配慮者利用施設入所者の一時的な避難場所、急病等救急時の搬送拠点として活用。さらに平常時においても水防訓練等各種訓練のフィールドや地域のコミュニティースペースとして活用する予定です。



防災拠点の盛立作業状況

## 大久保遊水地完成20年行事【村山市、山形河川国道事務所】

### ～体験型防災教育、治水事業の重要性を再認識～

大久保遊水地は、最上川沿川地区の浸水被害軽減を目的として、平成9年に完成し、本年で20年を迎えました。これを記念し、アンバーサリープロジェクトの一環として「大久保遊水地探検隊」を実施しました。

遊水地に隣接する小学校の児童を対象とした体験型防災教育、普段入れない施設の見学、地域代表者の方々も加え、大久保遊水地の生い立ちを振り返り、これまでの役割、地域の水害リスクについて改めて考えていただきました。

■日時：9月29日(金)

■場所：大久保小学校,(大石田小学校), クアハウス基点

#### 第一部：体験型防災教育



大久保小学校出前講座



雨の重さを体験

#### 【参加者した子ども達の声】

- 雨水があんなに重いとは思わなかった。これからは、雨に気をつけて、避難情報が出たらすぐに逃げたい。(大久保小学校6年生)
- 大久保遊水地のお陰で、洪水から守られていることを初めて知った。そして、すごいと思った。(大石田小学校5年生)
- 水害が起こったら迷わずに逃げることの大切さを学んだ。(大久保小学校5年生)



大巨川水門体験

#### 第二部：大久保遊水地を振り返る



大久保遊水地の変遷を学習



体験型防災教育を終えての感想発表



学習室の立体模型で周辺地区を散策

#### 第三部：大久保遊水地カレー試食会

大好評の大久保遊水地カレー  
(10/31までの期間限定販売)



### 編集後記

10月23日の台風21号は、気象庁統計開始して以来3番目に上陸時期が遅い台風でした。この台風により最上川上流部においては、今年度初めて氾濫注意水位を超過する洪水となりましたが、幸い県内では洪水氾濫など大きな被害は発生しませんでした。

今年は穏やかな年かと思った矢先。『災害は忘れた頃にやってくる』とはよく言ったものと感じた洪水でした。